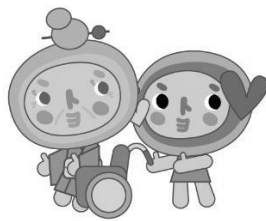


平成30年度
事業報告書



社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

事業報告の概要

少子高齢化や核家族化は益々進行し、世の中全体が目に見えて縮小している中、地域のつながりは更に希薄化し、社会的な孤立や経済的困窮、虐待など深刻な生活課題が社会問題として表面化しています。

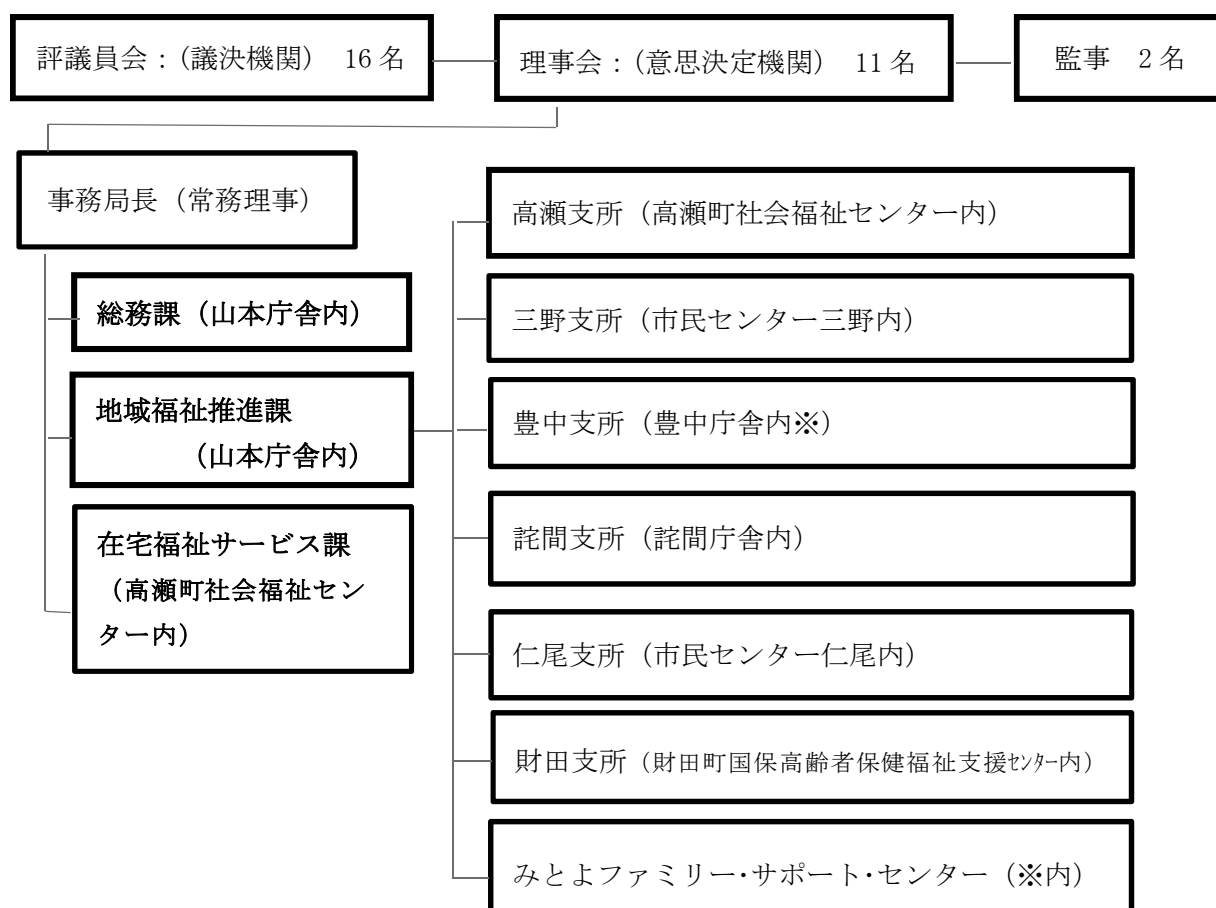
このような中、三豊市社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を使命とし、地区社協、民生委員・児童委員、行政をはじめ、社会福祉施設、ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人など様々な団体・組織と連携しながら、事業を実施しました。また、更なる福祉の充実を図るため、第3期まるみプラン（三豊市地域福祉活動計画：2019年度から2022年度）を策定しました。

なお、社会福祉法の改正に伴い法人運営体制を明確化し、透明・公正な意思決定を行うための仕組み等に努めました。

以下、平成30年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

（平成31年3月31日現在）



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長（嘱託） 1	・正職員 15	・有期雇用職員 13	・嘱託 1
介護系	・正職員 14	・有期雇用職員 5	・嘱託 2	合計 51 名（市へ交流 1 名）
その他	・市より（交流・派遣） 2 名			

1. 法人運営事業

事業費 117,841,829円

① 理事会・評議員会等の開催

【理事会】

開催日	議事等
第57回 平成30年 6月 8日 出席 理事 8名 監事 2名 欠席 理事 3名	報告第1号 会長専決事項について 議案第1号 平成29年度事業報告について 議案第2号 平成29年度決算について 議案第3号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第4号 平成30年度第1次資金収支補正予算について 議案第5号 評議員候補者の推薦について 議案第6号 第47回評議員会（定時評議員会）の招集について
第58回 平成30年 9月12日 出席 理事10名 監事 1名 欠席 理事 1名	報告第1号 会長専決事項について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 副会長の選定について 議案第2号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第3号 平成30年度第2次資金収支補正予算について 議案第4号 第48回評議員会の招集について
第59回 平成30年12月13日 出席 理事 9名 監事 2名 欠席 理事 2名	報告第1号 会長専決事項について 議案第1号 平成30年度第3次資金収支補正予算について 議案第2号 財産の取得について 議案第3号 第49回評議員会の招集について
第60回 平成31年 3月11日 出席 理事 9名 監事 1名 欠席 理事 1名	報告第1号 会長専決事項について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 事務局長の選任について 議案第2号 平成30年度第4次資金収支補正予算について 議案第3号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第4号 平成31年度事業計画について 議案第5号 平成31年度資金収支予算について 議案第6号 諸規程等の一部改正について ・職員就業規則の一部改正 ・嘱託職員就業規則の一部改正 ・有期雇用職員就業規則の一部改正 ・非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正 ・職員給与支給規程の一部改正 ・職員 育児・介護休業等に関する規程の一部改正

	・ 会員規程の一部改正 議案第 7 号 第 50 回評議員会の招集について
--	--

【評議員会】

開催日	議事等
第 4 7 回 平成 3 0 年 6 月 2 8 日 出席 評議員 1 6 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 平成 29 年度事業報告について 議案第 2 号 平成 29 年度決算について 議案第 3 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 4 号 平成 30 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 5 号 役員の選任について
第 4 8 回 平成 3 0 年 9 月 2 5 日 出席 評議員 1 2 名 欠席 評議員 5 名	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 平成 30 年度第 2 次資金収支補正予算について
第 4 9 回 平成 3 0 年 1 2 月 2 0 日 出席 評議員 1 4 名 欠席 評議員 3 名	議案第 1 号 平成 30 年度第 3 次資金収支補正予算について
第 5 0 回 平成 3 1 年 3 月 1 8 日 出席 評議員 1 3 名 欠席 評議員 4 名	報告第 1 号 事務局長の選任について 議案第 1 号 理事の選任について 議案第 2 号 平成 30 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 4 号 平成 31 年度事業計画について 議案第 5 号 平成 31 年度資金収支予算について 議案第 6 号 諸規程等の一部改正について ・ 職員就業規則の一部改正 ・ 嘱託職員就業規則の一部改正 ・ 有期雇用職員就業規則の一部改正 ・ 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正 ・ 職員給与支給規程の一部改正 ・ 職員 育児・介護休業等に関する規程の一部改正 ・ 会員規程の一部改正

【監事会】

開催日	議事等
平成 3 0 年 5 月 3 0 日 出席 会長 監事 2 名	平成 29 年度事業報告について 平成 29 年度決算について

【評議員選任・解任委員会】

開催日	議事等
第 4 回 平成 3 0 年 6 月 8 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要であることから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開催日	内容等
平成30年7月28日 参加 会長外15名 (善通寺市)	第16回四国地域福祉実践セミナーin 香川・仲善
平成30年10月30日 参加 会長外14名 (高松市)	第65回香川県社会福祉大会 表彰(本会関係) 社協・施設・団体役職員功労者 1名 社会福祉事業奉仕者 3名
平成31年 1月31日 ～2月 1日 参加 会長 (徳島市)	平成30年度 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会総会及び研修会

③ 衛生委員会

職員の衛生教育、健康相談、健康保持のため衛生委員会(職員研修)を開催した。

開催日	内容等
平成30年 9月13日 出席 27人 (高瀬支所)	1. アンチエイジングについて 抗酸化作用のある食べ物で老化を防ぐ
平成31年 3月25日 出席 18人 (高瀬支所)	1. 健康診断結果について 2. 感染症の基礎知識と対策について

④ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等にお願いした。

- ・一般会費(一口 500円)
 - 平成30年度 17,751戸 8,875,500円
 - (平成29年度 17,948戸 8,974,000円)
- ・賛助会費(一口 1,000円)
 - 平成30年度 12件 83,000円
 - (平成29年度 12件 91,000円)

<平成30年度内訳>

地区	一般会費（一口 500 円）		賛助会費（一口 1,000 円）	
	戸数（戸）	実績額（円）	会員数（件）	実績額（円）
高 瀬	3,971	1,985,500	1	5,000
山 本	1,843	921,500	0	0
三 野	2,439	1,219,500	1	2,000
豊 中	2,798	1,399,000	3	30,000
詫 間	3,917	1,958,500	2	12,000
仁 尾	1,697	848,500	3	22,000
財 田	1,086	543,000	0	0
市 外	0	0	2	12,000
合 計	17,751	8,875,500	12	83,000

※平成30年度一般会費と賛助会費合計 8,958,500 円

（イ）社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

<平成30年度内訳>

※（ ）内は前年度末

寄附の内容	件数	金額（円）
寄 附 金	46 (67)	3,176,778 (5,027,718)
物品寄附（車イス）	2 (2)	120,000 (120,000)
合 計	48 (69)	3,296,778 (5,147,718)

※寄附金については、寄附者の意に沿うように「地区社協」に対し活動助成を行う等、地域福祉のために活用させていただいた。

⑤ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金の交付を行った。

<各地区社協の状況>

24 地区社協

平成30年度助成金総額 6,410,000 円

地区名	地区社協名	設立年月	主な活動内容
高 瀬	勝間	S53.4	元気会、男性クッキング、米寿・百歳以上訪問、施設慰問
	上高瀬	S46.4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	二ノ宮	S53.4	元気会、高齢者訪問、小学校餅つき大会、福祉用器具設置
	比地二	S53.4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	麻	S47.4	元気会、男性クッキング 高齢者訪問、防災活動協力
山 本	辻	H19.3	子育てサロン、ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、料理教室、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等

	財田大野	H19. 3	三世代交流活動、男性料理教室、サロン交流会、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	神田	H19. 3	神田の歴史・文化をたずねて、立石山登山、男性料理講習、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
三 野	下高瀬	H18. 4	講演会、交流事業・サロン支援・防災・見守り活動他
	吉津	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援
	大見	H18. 4	講演会、交流事業・サロン支援・防災・見守り活動
豊 中	桑山	H17. 12	お年寄り花見会、高齢者在宅訪問、施設訪問、芋炊きウォーキング等
	比地大	H17. 8	安全パトロール、独居高齢者等への給食サービス・訪問交流、児童と高齢者の交流、サロン支援、芋炊きウォーキング等
	笠田	H18. 2	とよなか荘慰問、心の健康に関する講演会、一人暮らし高齢者訪問、芋炊きウォーキング等
	上高野	H18. 5	配食サービス、福祉推進月例会、救命救急講習会、芋炊きウォーキング等
	本山	H17. 8	福祉運動会、友愛訪問、高齢者訪問、芋炊きウォーキング等
詫 間	詫間	S42. 3	たくま健康福祉まつり、研修会、敬老会等
	松崎	H21. 1	たくま健康福祉まつり、サロン支援、ふれあい会食、見守り活動、健康ウォーキング等
	大浜	S42. 3	たくま健康福祉まつり、防災訓練、敬老会等
	箱浦	H21. 4	たくま健康福祉まつり、防災講演会、海岸清掃、敬老会等
	栗島・志々島	S42. 3	たくま健康福祉まつり、海岸清掃、敬老会等
仁 尾	仁尾	H18. 6	地域の清掃活動 防災訓練、敬老会、福祉ポスター、見守り
財 田	財田	H18. 11	宝山湖ウォーキング、パフォーマンスシアター

2. 地域福祉事業

事業費 6,496,833円

(1) 地域福祉活動推進事業

事業費 2,176,268円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付するものである。

平成30年度は、高瀬・三野・豊中より9地区社協から申請があり助成金を交付した。

＜助成状況＞

地区名（設置地区社協）	人数(人)	助成額（円）	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	7	14,000	
上高瀬地区社協	12	24,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	6	12,000	
三野地区			
大見地区社協	7	14,000	地域の見守り サロンの補助等
吉津地区社協	5	10,000	
下高瀬地区社協	5	10,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロン補助等
計	104	208,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らしの高齢者等に、電話訪問員（ボランティア）が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的として実施した。

○実施内容

月2回（第2・4水曜）ボランティアゆうゆうの会により本所（山本）にて実施

月2回（第1・3水曜）くらしの相談時、民生委員・児童委員により財田にて実施

○平成30年度利用者数 ゆうゆうの会 13人、財田地区 6人 計 19人

③ 緊急医療情報キット（まるみちゃん安心キット）の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らしの高齢者や障害者などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行なうため、かかりつけの病院・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器（キット）に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的として実施している。

民生委員・児童委員の協力により設置及び年1回（年度始め）の更新を行った。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂いた。

＜キット設置状況＞

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	計
区分	1	12	7	4	4	15	29	2	73
	2	0	2	15	0	3	2	0	22
	3	0	0	4	2	0	1	0	7
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
計		12	9	23	6	18	32	2	102
累 計		220	63	212	107	323	110	52	

※ 平成 30 年度末設置 713 世帯 利用者 839 人

【区分】

1. 65 歳以上の者の独居世帯
2. 65 歳以上の者のみで構成されている世帯（高齢者世帯）
3. 65 歳以上の者が含まれる世帯（高齢者同居世帯）
4. 障害者の独居世帯
5. その他

④ 福祉器具貸出

車椅子：平成 30 年度末現在 91 台所有

市民への貸出可能台数 64 台、施設等常設 18 台、デイサービス専用 9 台

＜車椅子貸出件数＞

(件)

高瀬地区	71	詫間地区	15
山本地区	12	仁尾地区	10
三野地区	26	財田地区	22
豊中地区	26	合計	182

・その他、高齢者疑似体験セット、ハンドベル等の貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等（里帰り・帰省時）に係る経済的な負担軽減を図り、地域における乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に貸し出しをした。平成 29 年 8 月より実施し、広報「みとよ」や社協だより「しちふく」に情報を掲載し、地域の方への広報活動に努めた。

事業開始後から 1 年が経過し、里帰りや帰省時の家族に活用された。

＜月別利用者数＞

(人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
貸出数	2	1	3	7	3	3	3	5	4	2	2	5	40

⑥ 実習生受入事業

平成 30 年度は、社会福祉士養成校からの依頼がなく、実習生の受け入れはなかったが、今後も積極的に実習生の受け入れができるよう体制を整えたい。

(2) 福祉啓発事業 事業費 154,927円

① 福祉作文

社会福祉の啓発・向上のために、三豊市内の小・中学校の児童・生徒が、福祉の大切さを自覚し、心豊かな人になることを願って福祉作文を募集した。

入賞作品は、三豊市社会福祉大会で表彰し、最優秀作品を披露した。

＜小学生の部＞ (人)

総応募数	115	最優秀	1
出点数	36	優秀	4
		入選	12

＜中学生の部＞ (人)

総応募数	285	最優秀	1
出点数	20	優秀	2
		入選	7

② ファミリー写真コンテスト

ファミリー写真コンテストへの参加を通じて保護者や家族等が子どもとの絆を深めるとともにファミサポ会員出張登録会を実施し、ファミサポのPRや登録の機会となった。また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

30件の応募があり、みとよ福祉まつりのファミサポブースに展示し、優秀作品に対して本会会長表彰を行った。

＜みとよ福祉まつり＞

開催日	開催場所	応募数	内訳(人)
平成30年9月22日	市民交流センター 豊中町農村環境センター	30	最優秀賞 1 優秀賞 2 入選 17 佳作 10

(3) 相談事業 事業費 1,626,331円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「くらしの相談」及び法律に関する問題に対する「法律相談」を開催した。

① くらしの相談

生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が市民の相談に応じた。また、必要に応じて各支援機関や専門員と連絡を図った。

＜相談状況等＞ 相談：各支所毎月2回(第1・3水曜日)開催

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	5	1	家族(家族間の人間関係等)
山本	1	2	苦情(土地の境界等隣人関係等)
三野	5	3	住宅・財産

豊中	4
詫間	9
仁尾	9
財田	1
計	34

4	人権・法律
5	生計・高齢者福祉

② 法律相談

香川弁護士会と連携し、地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に法律の知識を要するものについて、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けている。

＜相談状況等＞ 相談：毎月3回(第1・2・3火曜日)開催

※高瀬は毎月、その他の支所は3ヵ月に1回

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	49	1	人権・法律（土地の境界等）
山本	19	2	財産(相続・遺産分与等)
三野	15	3	結婚・離婚
豊中	19	4	家族(遺言書・借金等)
詫間	17	5	事故
仁尾	20	6	住宅
財田	19	7	職業・生業、苦情
計	158	8	生計

(4) 福祉バス管理運営事業

事業費 1,737,774円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び社会福祉活動への住民の参加のための援助を目的として福祉バスを運行した。

＜月別運行状況＞

平成30年度末現在 利用登録団体：97団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	255	171	122	81	65	158	207	355	45	36	46	88	1,629
運行回数	12	9	7	4	4	8	11	19	2	2	3	5	86

★福祉バス（平成17年1月登録：乗車定員25人）

(5) ボランティア活動推進事業

事業費 57,758円

イベント等のニーズに対するマッチングを行ったほか、本年度は子育てボランティアの養成を目的に、ボランティア講座を開催した。受講者のうち3名は、市内で活動中の子育てボランティアに登録し活動を開始した。また、ボランティアセンターのホームページをリニューアルし、ボランティア団体の情報や講座等の情報公開を行った。

＜ボランティア活動保険加入状況＞

※（ ）内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入者数(人)
ボランティア活動保険	95団体(100)	2,110(2,027)

	個人加入	42 (20)
行事用保険	42 件 (30)	5,776 (4,410)

＜ボランティア養成講座実施状況＞

開催日・開催場所	内容	参加人数
平成 30 年 9 月 26 日 三豊市役所豊中庁舎	「子育てボランティア養成講座」	13

（６）団体助成事業 事業費 134,000円

小さな親切運動高瀬支部、山本支部に助成した。

子どもたちの健全育成、あいさつ運動、環境美化活動等に活用された。

（７）認知症サポーター養成講座事業 （三豊市受託事業）

事業費 43,200円

地域で認知症についての正しい理解や接し方についての知識を深めてもらうための取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を市の委託を受け開催した。

＜養成講座＞

(人)

回数	開催日	受講先	受講者数 (サポーター数)
1	平成 30 年 5 月 22 日	香川ヤクルト販売(株)ヤクルト三豊センター	9
2	平成 30 年 6 月 1 日	山本小学校 5 年 1 組	27
3	平成 30 年 6 月 1 日	山本小学校 5 年 2 組	28
4	平成 30 年 6 月 14 日	松崎小学校 5 年生	15
5	平成 30 年 7 月 4 日	和光中学校 2 年生	44
6	平成 30 年 7 月 26 日	松崎地区社協見守り協力員	16
7	平成 30 年 9 月 13 日	比地小学校 6 年生	23
8	平成 30 年 9 月 19 日	三豊市在住の方	32
9	平成 30 年 10 月 26 日	笠田小学校 6 年生	19
10	平成 30 年 12 月 13 日	詫間地区民生委員児童委員	36
11	平成 31 年 1 月 28 日	勝間小学校 5 年生	23
12	平成 31 年 3 月 6 日	介護施設オレンジホーム	25
・企業等：2回 ・団体、グループ：3回 ・小学校：6回（5校） ・中学校：1回（1校）			合計 297

市地域包括支援センターと連携して、認知症サポーター養成講座を積極的にPRし、認知症徘徊SOSネットワークの提携も増えたことから企業等での開催も行った。

小学校では、地域のキャラバンメイトにも参加いただき、児童がそれぞれ認知症に係る寸劇をした。また、市地域包括支援センター、三豊市立西香川病院（認知症疾患医療センター）とも協議を重ね、従来からの講座内容を新たに見直し、パネルを用いた説明にしたことで、より一層理解を高めることができた。なお、市主催のキャラバンメイトの会に参加し、新しいパネルを用いた講座の説明をするなど、認

知症を地域で支えるための意見交換等を行った。県主催のキャラバンメイト養成講座には、本会から1人の新人職員が養成講座を受講した。三豊市立西香川病院（認知症疾患医療センター）との連携を行い、三観地区認知症を学び支える会では各専門職との連携を深めるとともに、認知症啓発イベントでは寸劇を交えて認知症の理解促進を行った。

（８）障害児長期休暇中預り事業（三豊市受託事業）

事業費 543,929円

三観地域自立支援協議会や地域のボランティア等の協力を得て、夏休み期間中、障害児の預りサービス（通称：みとよきらっと☆くらぶ）を開催した。

＜開催状況＞

開催場所：山本町老人ふれあいプラザ

開催日	当日利用障害児(人)	支援者・協力者(人)
7月30日(月)	9	15
7月31日(火)	10	17
8月1日(水)	8	16
8月2日(木)	10	15
8月3日(金)	9	17
8月6日(月)	7	14
8月7日(火)	7	14
8月8日(水)	10	18
8月9日(木)	10	17
8月10日(金)	5	12
合 計	85	155

※利用料：500円/日 預かり時間：9時30分～15時30分

＜活動状況等＞

日中活動として、毎日のプール遊びの他、腹話術の鑑賞や、松崎うどん同好会の協力でうどん打ち体験と試食も行った。また、今年度初の試みで読み聞かせボランティアや音楽ボランティアによる催しを取り入れた。

＜利用者アンケートより：抜粋＞

- ・笑顔で迎えてくださり、安心してお預けでき、助かっています。
- ・家庭ではできない楽しい催しがあり、いろいろな体験もでき、子どもも満足しています。
- ・多くのボランティアさんに関わっていただき、新しい貴重な出会いもあり、感謝しています。

（９）自発的活動支援事業（三豊市受託事業）

事業費 22,646円

障害者(児)が自立した生活を営むことができるよう、障害者(児)やその家族、地域住民等による地域における自発的な取り組みを支援し、共生社会の実現を図ることを目的に、ボランティア養成のための研修会を開催した。

この研修会は、障害児長期休暇中預り事業(みとよきらっと☆くらぶ)に参加したボ

ランティアに対するフォローアップ研修も兼ねており、また、今後地域での障害者(児)支援を充実させていくためにも、関係機関や地域のボランティアが集い、共に学び合う機会にもなっている。

開催日・開催場所	テーマ・講師	参加人数
平成 31 年 3 月 15 日 山本町保健センター	「特別な支援の必要がある子どもたちへの ボランティアとしての関わり」 香川県立香川西部養護学校 教諭 塩月 牧子 氏	60

3. 共同募金配分事業

事業費 13,574,452円

(1) 福祉まつり開催事業

事業費 687,106円

本年度より「みとよ福祉まつり」として本会単独開催となった。ボランティア団体をはじめ障害者団体等の関係機関と連携し、地域福祉活動への参加促進を図るとともに、福祉啓発の場となった。

<みとよ福祉まつり>

開催日・開催場所	主な内容
平成 30 年 9 月 22 日 三豊市市民交流センター 及び豊中町農村環境改善センター	・屋外イベント(各種体験) ・屋内ステージイベント ・屋内イベント(飲食ブース、バザー、ファミリー・サポート・センターの事業紹介、出張登録会、写真コンテスト作品展示)

(2) 福祉教育推進事業

事業費 1,829,876円

① 福祉普及推進校(園)指定事業

三豊市内の小学校及び中学校(以下「学校」という。)の児童、生徒と、幼稚園園児を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とした取り組みに対し、要綱に基づいて学校・幼稚園へ助成金を交付した。

<助成状況>

区分	総数	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	18 園	18 園	540,000	未就学児との交流、各種団体との交流(餅つき大会、お茶会、夏祭り)等
小学校	20 校	19 校	950,000	地域での餅つき大会、福祉施設訪問、清掃活動等
中学校	7 校	5 校	210,000	施設訪問、ふれあい看護体験等
合計	18 園 27 校	18 園 24 校	1,700,000	

② 夏のチャレンジボランティア講座 2018 の実施（三観 5 高校・市内 7 中学校の生徒対象）

三観の高校生及び市内中学生を対象とし、ボランティアセンター主催事業とすることで、従来取り組んできた夏休みボランティア体験を見直し、内容をボランティア活動に絞り込んだ。

身近なところからボランティア活動に対する関心を高め、具体的な活動への参加の機会を提供することができた。また、募集方法にメールでの申込み受付を取り入れ、手軽に申込みできるようにした。

○内容：10 コース

協力先：おはなしの会たかせ、みとよ音声訳の会「ぽかぽか」、点訳サークルアイ・みとよ、高瀬地域子育て支援センター、三豊市高瀬町公民館、豊中町愛育会、子育てボランティアみみちゃん、松崎地区社会福祉協議会、松崎うどん同好会、こすもす広場、みとよファミリー・サポート・センター

<開催状況>

(人)

	コース名	定員	申込数	最終参加人数
1	読み聞かせボランティア	15	11	9
2	音声訳ボランティア	15	4	4
3	点字訳ボランティア	8	8	8
4	夏まつりボランティア	10	10	10
5	あそびの館詰ボランティア	15	3	警報発令のため中止※
6	ファミサポ全体交流会ボランティア	3	2	2
7	お楽しみ会ボランティア	10	10	11
8	託児ボランティア	3	3	3
9	ふれあい会食ボランティア	5	4	4
10	こすもす広場ボランティア	7	8	8
合計（10 コース）（10 か所）延べ 12 日		91	64	59

※あそびの館詰ボランティアは、12 月 2 日に延期され、3 名ボランティアに参加

③ 福祉体験学習への支援（市内小学校の主に 5・6 年生、中学生対象）

子どもたちへの福祉教育の一環として、市内の小学校 5・6 年生に加え、新たに小学校 3 年生、中学生を対象に福祉体験を実施した。実施の際には、担当教員と事前打ち合わせを行い、体験を通してのねらいや授業の進め方を確認するとともに、福祉施設への訪問等についてのアドバイスを行った。また、今年度は、中学生を対象に初めての認知症サポーター養成講座を行い、新たなメニューの開発に繋がった。なお、未体験項目についても説明を行い今後の取り組みを促した。

<体験内容>

(人)

体験内容	実施小、中学校	延回数	参加延人数
高齢者等疑似体験	山本 2 回、笠田、曾保、松崎、比地、勝間、上高野	8	147

車イス体験	曾保、比地、上高野	3	36
視覚障害体験 (アイマスク体験含む)	曾保、松崎、比地、上高野	4	51
認知症体験者養成講座	山本2回、松崎、和光(中学)、 比地、笠田、勝間	7	179
合計	校(延校)	22	413

※バリアフリーやユニバーサルデザインについての話を各体験の中で実施。高齢者疑似体験セットや車イス、視覚障害対応オセロなどの教材の説明と貸出等を行った。

(3) 地域活動支援事業

事業費 319,794円

○高齢者声かけ見守り活動助成事業

地域において、ひとり暮らしの方、高齢者のみの世帯等「気になる(心配)人」が増えていく中、自治会等の小地域を基盤として、住民の参加と協力により、同じ地域のなかで援護が必要な方々の生活を見守り、安心して暮らせる地域づくりを目的とする事業を実施する団体・グループに対し、助成金を交付し、活動を支援した。

＜助成事業内容＞

助成事業内容	団体数	助成額合計(円)
高齢者声かけ見守り活動	7	260,000

(4) サロン活動推進事業

事業費 3,562,740円

○ふれあい・いきいきサロン活動

「地域の拠点に、住民である当事者とボランティアとが協働して企画をし、内容を決め共に運営していく、楽しい仲間づくりの活動」という定義により、高齢者だけでなく、障害者や子育て中の親、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場(ふれあい・いきいきサロン)に対して助成金を交付し、活動を支援した。

＜高齢者サロン＞

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	40	－1	840	8,124	745,000
山本	17	0	308	4,066	357,000
三野	11	0	176	2,244	211,000
豊中	46	－1	562	8,544	846,000
詫間	20	－2	405	5,360	375,000
仁尾	16	－1	190	3,107	291,000
財田	5	0	98	823	85,000
計	155	－5	2,579	32,268	2,910,000

<子育てサロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	67	2,350	80,000

<障害者サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	36	312	40,000
詫間	1	0	12	314	25,000

<毎日型サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	150	6,565	100,000
豊中	1	0	314	1,877	100,000
財田	1	0	138	2,733	100,000

○サロン活動推進者研修会の開催状況

地区名	内容
高瀬	平成 30 年 9 月 12 日 みとよ未来創造館 「わかればかんたん！楽しく！ちょうどいい！衰え予防体操」 講師：かがわ総合リハビリテーション福祉センター 作業療法士 大野 香織 氏 参加者 54 人／参加サロン数 32 サロン
山本	平成 31 年 3 月 1 日 山本町保健センター 「健口から健康へ」講師：歯科衛生士 佐野伸枝 氏 「七宝のかぜDVDをみて体操」講師：理学療法士 中塚 氏 参加者 34 人／参加サロン数 18 サロン
三野	平成 30 年 11 月 5 日 三野町社会福祉センター 「健康教室」 講師：香川ヤクルト販売株式会社 長尾 志津代 氏 参加者 26 人／参加サロン数 8 サロン
豊中	平成 31 年 3 月 22 日 市民交流センター 「サロンのできる健康体操」講師：NPO法人香川県運動推進協会 理事長 安部 武矩 氏 参加者 67 人／参加サロン数 36 サロン
詫間	平成 31 年 3 月 20 日 詫間町福祉センター 「E V A G 避難行動訓練 ～災害が起こった時、どのように行動しますか？～」講師：社協職員 参加者 20 人／参加サロン数 12 サロン
仁尾	平成 31 年 3 月 13 日 市民センター仁尾 「カルメン健康体操」講師：田上はる美 インストラクター：原井サカエ 氏 参加者 36 人／参加サロン数 15 サロン

財田	平成 30 年 11 月 27 日 財田町たからだの里 パークゴルフ場 「パークゴルフ」 参加者 29 人／参加サロン数 4 サロン
----	--

(5) 広報啓発事業

事業費 1, 3 6 7, 0 8 6 円

○広報紙 みとよ社協だより「しちふく」の発行・ホームページの充実

本会事業等への理解を深めるとともに福祉活動の啓発やサロン活動等の地域への情報発信を目的として広報紙を年 4 回発行した。

ホームページについて、本会及びファミリー・サポート・センターからの情報発信、新着情報、スケジュール等内容を随時更新した。新たにボランティアセンター専用のページを設置し、情報提供等を行った。

＜「しちふく」の発行状況＞

発行月	ページ数	主な内容
平成 30 年 4 月	12	ふれあいいきいきサロン助成金案内、ボランティア保険案内 他
7 月	12	29 年度事業報告・決算、30 年度事業計画・予算 他
10 月	12	夏のチャレンジボランティア講座 2018、みとよきらっと☆くらぶ、共同募金、みとよ福祉まつり・社会福祉大会お知らせ 他
平成 31 年 1 月	12	みとよ福祉まつり・社会福祉大会報告、福祉作文、ファミリー写真コンテスト 他

毎号掲載：七福通信(各地区の情報)、キラリ人☆見つけた(ボランティア団体・個人紹介)サロンへようこそ(地域のサロン活動の紹介)等

(6) 社会福祉大会開催事業

事業費 7 2 6, 2 3 2 円

「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり・人づくり・ネットワークづくり」を実現するため、市内の社会福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の推進に取り組む決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々の顕彰を行うため、本会、三豊市共同募金委員会、三豊市身体障害者協会、三豊市母子寡婦福祉連合会の共催で開催した。

- ① 平成 30 年 6 月 28 日 平成 30 年度会長表彰候補者の推薦について（依頼）
・各種団体へ推薦依頼
- ② 平成 30 年 9 月 12 日 第 13 回三豊市社会福祉大会実行委員会開催
・委員長及び副委員長の互選について
・受賞者の選考について・大会資料等について

< 第 13 回三豊市社会福祉大会の概要 >

来場者数: 約 250 人

開催日	主な内容	場 所
平成 30 年 11 月 10 日	・ 式典 (表彰) 社協・施設・団体の役員 1 名 社会福祉事業奉仕者 13 名 社会福祉事業奉仕団体 4 団体 自立更生努力者 2 名 (感謝) 社会福祉事業協助者 38 名 社会福祉事業協助団体 10 団体 (福祉作文受賞者) 小学生の部 17 名 中学生の部 10 名 ・ 記念講演 演題「魅力的なコミュニケーションを考える ～地域社会のつながりを大切に～」 講師：フリーキャスター/千葉大学客員教授 木場 弘子 氏	みとよ 未来創造館

(7) 安心安全推進事業

事業費 2,972,733 円

① 研修及び訓練

平成 29 年 3 月 28 日に三豊市との災害時におけるボランティアセンターの設置運営協定締結を踏まえ、引き続き災害ボランティアセンター運営についての検討を行った。

また、広域災害が発災した場合、センター業務では近隣社協からの応援職員を含めた運営が想定されることから、同じ圏域である三豊・観音寺市両社協での合同訓練を昨年度に続いて企画。実際に設置運営体験を行う中で、各役割について共通認識を図り、運営方法の検証と課題等の整理を行うことを目的に開催した。

< 開催状況 >

(人)

開催日	内容	参加人数
平成 31 年 2 月 16 日 (土)	三観合同災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練 場所：観音寺市役所大野原支所周辺 講師：ピースボート災害ボランティアセンター 内容： ①災害ボランティアセンターの機能と役割について ②災害ボランティアセンター設置に係るシミュレーション訓練（総務班・オリエンテーション班・マッチング班・資材班） ③グループで振り返り作業、意見交換、講師総評	72 (内、三豊市 30)

② 車輛整備等

普通乗用車ワンボックスタイプ（トヨタノア 2WD） 平成 30 年 12 月 25 日購入
災害ボランティアセンター設置の際に、送迎運搬用車輛が必要不可欠であるため 8 人乗り乗用車を整備した。

③ 地区自主防災組織との連携

松崎地区自主防災会による松崎地区防災訓練への参加
大規模災害等が発災した際の初動に係る被災地との連携について、連携のためのモデル作りのために松崎地区防災訓練に参加。三豊市災害ボランティアセンターの受付窓口を設置し、被害状況の把握やボランティアニーズの把握等について訓練を通じて検証を行った。

④ 研修会、関係機関の会議等への出席

開催日	会議名	開催場所
平成 30 年 10 月 17 日	発災時に福祉的支援を行うための研修会 ～社会福祉施設等への応援職員研修～	香川県社会福祉総合センター
平成 31 年 2 月 27 日	平成 30 年度災害福祉支援セミナー	香川県社会福祉総合センター

⑤ その他

平成 30 年 7 月 17 日～22 日、8 月 16 日～21 日まで、各々職員 1 名が愛媛県西予市災害救援ボランティアセンター運営支援として従事した。

(8) まるみプラン推進事業

事業費 2,108,885 円

① 第 2 期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進と第 3 期計画策定

上記計画を実践するため、各地区（7 町）の地域福祉活動計画実行委員会や地区社協が主体となり、それぞれの計画の実践に向けた具体的な協議と活動の広がりや新たな事業が展開された。また、今年度は第 2 期計画の最終年と第 3 期計画策定の年であることから、第 2 期計画の振り返り作業を行うと共に策定委員会を設置、新たな計画づくりを行った。

＜地区実行委員会等の開催・運営＞

地区名	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じてボランティアスタッフ募集	（プラットフォームとして）まるみプロジェクト	会議 11 事業 9	地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。 「み～んなで遊ぼう！夏まつり」支援センターで交流事業・「まるみ米粉パン」配布。「高瀬健康ウォーキング」開催。「あそびの館詰」事業。「介護予防健康体操のサロン啓発」等を行った。

				会議・事業で延 956 人参加。
山本	19	全体会 地区社協 会長会・ 正副委員 長会等	2 5	「宝山湖公園ウォーキング」、「お花見 ウォーキング」開催。保育所交流事業 「夕涼み会、餅つき会」等の参加協力。 長寿会行事への協賛、元気会交流会へ の参加。
三野	13	全体会 分科会等	6 9	「ゴミ持ち帰り運動」の推進。 「子育て 10 カ条」の各戸配布（啓発） 「みのふるさと再発見ウォーキング」 開催。
豊中	23	全体会 リーダー会 座談会	7 7 2	比地大小学校周辺にて「芋炊きウォー キング」開催（参加者 324 人）。町文化 祭会場で、活動内容や推移のパネル展 示や防災用品展示を行い広報活動（来 場者約 3,200 人）。食改の協力を得て 校区伝達講習会（男性料理教室）を開 催し健康食育活動を実施（参加者 69 人）。 1 月、2 月に座談会を開催（延 42 人） し、豊中町の「良い所」、「気になる所 （課題）」を抽出し、課題に向けた取り 組み内容を協議し、第 3 期豊中地区地 域福祉活動計画を策定した。
詫間	10	全体会等 事業	10 1	全体会をはじめ、各種打ち合わせを重 ねて、たくま健康福祉まつり実行委員 会を主催開催。健康・福祉をテーマに 各団体の参加促進、交流連携を図った。 また、体力測定会の協力・参加、 ラジオ体操の普及促進も図ったが体 力測定は台風の為、中止となった。
仁尾	16	全体会 事業	2 5	仁尾中、仁尾小、曾保小学校区防災訓 練。クリーン作戦&炊き出し訓練。清 掃活動（蔦島）。敬老会。
財田	30	全体会 打合せ会	3 5	「宝山湖ウォーキング」、「パフォー マンスシアター（腹話術・大道芸）」開催。

各地区別に 4 テーマ（健康・交流・安心安全・環境）に即した地域色豊かな事業について、実行委員や関係者らと協議を重ねるとともに、学校や行政や各種団体等との連携・協働により、子どもから高齢者まで幅広い地域住民活動へと浸透している。

なお、第 2 期計画最終年ということで、各地区での取り組みについて振り返り作業を行った。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・ 実行委員会活動経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・ 各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を展開した。

③ 第 3 期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）策定

15 名による策定委員会を設置、計 4 回の委員会を開催し計画策定を行った。

市内の中学生による座談会を開催するなど、次世代の担い手たちの意見についての取り入れを行った。

計画冊子及び概要版の作成。

＜三豊市地域福祉活動計画策定委員会開催内容＞

開催日	回	内容
平成 30 年 12 月 20 日	第 1 回	・ 委嘱状の交付 ・ 委員長・副委員長の選出 ・ まるみプランの概要 ・ 第 2 期計画実施の報告 ・ 第 3 期計画策定に向けた取り組み
平成 31 年 1 月 17 日	第 2 回	・ オリエンテーション ・ 課題抽出についてのグループワーク ・ 今後の展開および次回の内容について
平成 31 年 2 月 18 日	第 3 回	・ まるみプランの基本目標、方針、取り組み内容についてのグループワーク ・ 次回の内容について
平成 31 年 3 月 6 日	第 4 回	・ まるみプラン（案）（第 3 期三豊市地域福祉活動計画）について

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

事業費 2, 5 4 0, 0 3 7 円

県社協の受託事業として、低所得・障害者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催で相談会を年 2 回（8 月・1 2 月）実施し情報収集等に努めた。

＜相談・貸付状況＞

（単位：件・円）

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
総合支援資金	4	0	－
福祉資金（福祉費）	10	0	－
福祉資金（緊急小口）	45	8	398,000

教育支援資金	73	4	2,495,400
その他	100	2	165,000
計	232	14	3,058,400

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（県社協受託事業）

事業費 7,587,408円

高齢や障害により判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを利用するための情報を入手したり、理解したり、判断をすることが自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスを利用するために必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常的なお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり支援等を本人との契約により行った。平成20年度より事業を実施している。

＜相談・援助件数＞

(件)

内容	本事業の利用に関するもの・その他				合計
対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	0	0	1	1
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	6	5	6	3	20
c. 相談援助件数 (a・b以外)	694	889	708	279	2,570

＜利用者の状況＞

(人)

対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	3	3	1	1	8
契約終了者	1	0	1	1	3
平成30年度末利用者	9	13	9	3	34

(内：生活保護受給者 8人)

＜利用者の年代別内訳＞

(人)

年齢	90才代	80才代	70才代	60才代	50才代	40才代	30才代	20才代
人数	2	4	6	5	7	6	2	2

●生活支援員の活動について

生活支援員8人（内：職員5人）が利用者に対し、訪問を行った。

＜研修会、関係機関の会議等への出席＞

開催日	会議名	開催場所
30年4月18日	権利擁護関係事業担当者会	香川県社会福祉総合センター

30 年 4 月 18 日 30 年 6 月 27 日 30 年 8 月 22 日 30 年 10 月 17 日 31 年 2 月 27 日	生活福祉資金貸付事業 日常生活自立支援事業 生活困窮者自立支援事業等担当者 定例会	香川県社会福祉総合セ ンター
30 年 5 月 25 日 30 年 8 月 7 日 31 年 3 月 12 日	生活支援員研修会	香川県社会福祉総合セ ンター 丸亀市保健福祉センタ ー（ひまわりセンター）
30 年 6 月 10 日 30 年 10 月 20 日	あんしんネット勉強会	香川県社会福祉総合セ ンター
30 年 4 月 24 日 30 年 7 月 24 日 30 年 9 月 11 日 30 年 10 月 23 日 31 年 2 月 8 日	三観地域自立支援協議会	三豊市役所 みとよ未来創造館 観音寺市社会福祉セン ター
30 年 7 月 24 日	三観地域障害者差別解消研修会	三豊市役所
30 年 6 月 29 日 30 年 11 月 18 日 31 年 2 月 20 日	三豊市発達障害等支援連携会議 （講演会含む）	三豊市役所 山本町保健センター

6. 法人成年後見等事業

事業費 4, 886, 572 円

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行う事業である。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任も行っており、本会では平成22年度より事業を実施している。

なお、後見報酬（手数料）は裁判所が決定する。

＜受任状況＞

※前年度末：受任件数9件 (件)

類型	成年後見	保佐	補助	合計	終了
平成29年度までの件数	7	6	0	13	4
平成30年度の件数	0	0	1	1	1

＜利用者の年代別＞

(人)

年齢	90才代	80才代	70才代	60才代	50才代	40才代
人数	2	3	1	1	1	1

(生活保護受給者なし)

●三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するために受任適否の判断や後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

<委員会構成>

選出区分	備考
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
社会福祉協議会役職員	三豊市社会福祉協議会監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
行政機関関係者	三豊市介護保険課

<委員会>

開催日	内容	開催場所
30年7月11日	新規受任ケース（1件）について審議	高瀬町社会福祉センター
31年3月19日	受任ケース（10件）について報告	高瀬町社会福祉センター

<研修会、関係機関の会議等>

開催日	会議名	開催場所
30年4月18日	権利擁護関係事業担当者会	香川県社会福祉総合センター
30年5月25日	三豊市成年後見制度利用促進審議会 設置準備会（第2回）	三豊市役所
30年10月26日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡 協議会	高松家庭裁判所
30年11月2日	市民後見自治体向けセミナー 「市民後見人養成事業への取り組み」	レクザムホール
30年11月12日 30年11月19日 30年11月21日	成年後見制度人材養成研修Ⅰ 成年後見制度人材養成研修Ⅱ 成年後見制度人材養成研修Ⅲ	香川県社会福祉 総合センター
30年11月26日 30年12月19日 31年2月28日	三豊市成年後見制度利用促進審議会 （第1回～第3回）	三豊市役所
31年1月10日	地域ケア会議	三豊市役所
31年1月23日	市民後見推進のための研修会	三豊市役所
31年2月6日	成年後見推進講演会	坂出グランドホテル
31年3月7日	丸亀市成年後見制度講演会	丸亀市保健福祉セ ンター（ひまわり センター）

●NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、同法人の活動目的に賛同し、地域の高齢者や障害者等の権利擁護推進のため、同法人の成年後見人等の受任ケースのうち市内在住者2件について、地域で生活していくための支援を行っている。

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 106,252円

※香川おもいやりネットワーク事業

社会福祉施設や民生委員児童委員と社会福祉協議会が連携してネットワーク会議を開催し、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」をめざした事業。

なお、平成30年度はフードバンクの活用でつなげることができたため実績はなかったが、10人に対して継続的に相談及び支援を行った。

8. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 7,486,196円

(1) ファミリー・サポート・センター事業

事業費 6,130,200円

① 会員数及び活動件数

事業開始後、11年経過し会員数が順調に増加となり、今年度は1,000人を超えた。利用した会員の口コミによるPRも広がり会員登録、援助依頼も増加している。会員宅や各地域子育て支援センター・つどいの広場等にアドバイザーが出向き、随時面接を行い登録の手続きをすることにより会員の増加に努めた。また、継続の依頼も多くなり会員同士の信頼関係も順調なため利用が広がり、安心安全に援助が受けられることが件数増加につながっている。

<会員数> (人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供（まかせて）会員	270	274	△4
依頼（おねがい）会員	711	689	22
両方会員	43	41	2

<活動実績> (件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	445	833
② 放課後児童クラブまでの送迎（430）、終了後の預かり（91）	521	244
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	118	336
④ 小学校へ送迎	83	175

⑤ 保護者等の外出の場合の援助	241	184
⑥ 保育所・学校等休み時の援助	88	87
⑦ 習い事等の送迎	569	590
⑧ その他（下欄に具体的に記入）	263	585
・母親（おねがい会員）宅にての預かり・母親同伴の預かり	(235)	(550)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(11)	(7)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(13)	(10)
・保護者の病気、その他急用の場合の援助	(4)	(17)
・他の子どもの病気時・保護者等の求職活動中の援助等	(0)	(1)
合 計	2, 328	3, 034

② 会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催

(ア) ファミサポの要となる「まかせて会員」養成講座を年2回開催した。今年度から専門知識を身に付けていただき、安心安全に子どもの預かりが行えるよう、5日間延べ24時間の講習となった。

<養成講座>

(人)

開催日	講習会	開催場所	受講者数
6月26日	第1回 「まかせて会員」 養成講座	豊中町保健センター	7
6月27日			7
6月29日			10
7月5日			8
7月6日			7
1月29日	第2回 「まかせて会員」 養成講座	豊中町保健センター	15
1月30日			13
2月7日			13
2月14日			11
2月15日			13

(イ) 会員のスキルアップをめざしフォローアップ講習会を開催した。保護者への言葉かけや子どもへのスキンシップ、共感する言葉かけなど、見方を変えて伝えていく大切さを学ぶことができた。また、宇多津町社協「みんなのサロンとともに」の視察研修では、高齢者、乳幼児、障がいのある方、だれでも気軽に交流できるイベントが開催されており、これからの援助に活かせる講習会となった。

<フォローアップ講習会>

(人)

開催日	内容	開催場所	受講者数
5月28日	臨床心理士さんから学ぶ子どもの心の発達とおやこの愛着関係	豊中町保健センター	31
9月5日	視察研修：みんなのサロンとともに・香川防災センター	宇多津社協・香川防災センター	17

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員同士の交流を図るために交流会を3回開催した。アンケートの意見をもとに内容等を検討してきた結果、参加者数も増加している。また、子育て世代だけでなく幅広い世代の方との交流を図ることで、ファミサポのPRもでき会員登録につながり、今後も事業への参加を広げていく。

<交流会>

(人)

開催日	内容	開催場所	参加者数
4月2日	ミニ交流会	豊中町保健センター	24
8月4日	全体交流会	三豊市民交流センター	60
12月1日	クリスマス会	三野町保健センター	107

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場に出張登録会を兼ね定期的に出向き、活動内容等の情報交換、要望、また施設の利用者の意見などを基に、よりよいサービスの充実を検討し調整を図った。

(イ) 県内の関連機関（県・他センター）との連携を取り、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。県内ファミサポ連絡会に参加し、現在ファミサポに求められていることなど互いの考えや視野を変えた方法を話し合い、今後の手立ての参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内容	開催場所
8月31日	29年度実績報告・30年度行事計画案・困難事例について	三豊市豊中町保健センター
1月11日	幼児教育無償化について・相互事例検討	東かがわ市民交流プラザ

(ウ) 全国アドバイザー交流会に参加し、全国の活動実施報告を聞き、情報交換・意見交換等を行うことにより交流を深めた。なお、教育現場におけるクレーム対応や保護者対応での基本技を学び、今後のファミリー・サポート・センターの保護者対応に役立つ研修を行った。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内容	開催場所
10月4日	ファミサポ事業における保護者対応を考える、グループワーク、情報交換他	ホテル大阪ベイタワー

(エ) リスクマネジメント実践セミナーに参加し、教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時対応のためのガイドラインを基にファミリー・サポート・センターで活用するための実践セミナーに参加した。事故が起きないようにセンターとしてできることを学び、ファミサポ通信での事故防止啓発活動やまかせて会員対象のリスクマネジメント講習会開催への資料作成の参考になった。

<リスクマネジメント実践セミナー>

開催日	内容	開催場所
11月9日	ファミリー・サポート・センター事業における～ヒヤリハットの収集及び活用実践セミナー～	TPK ガーデンシティ大阪 淀屋橋バンケット

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行し、各施設等に配布して活動状況や会員数・イベント

情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。広報「みとよ」・社協だより「しちふく」にも定期的に情報を掲載し地域への情報発信を行い、会員増強に努めた。ホームページによりさらに情報提供の輪を広げ、いつでも活動内容の情報をキャッチできるよう努めた。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ、(広報「みとよ」社協だより「しちふく」)、ファミサポ通信 (年3回発行)、まかせて会員養成講座チラシ、ファミリー・サポート・センター通信増刊 (2月発行)、子育てホームヘルプチラシ
ホームページ掲載	三豊市・本会ホームページ

(2) 子育てホームヘルプ事業

事業費 1,355,996円

産前(2ヶ月)・産後(6ヶ月)期に子育てホームヘルパーを派遣して、育児または、家事の援助、相談を行うサービスを平成23年度より実施している。8年を経過し事業の知名度が浸透してきており、6ヶ月を過ぎるとファミサポにつなぐ援助も定着してきている。

●登録会員数及び利用件数

<利用者・子育てホームヘルパー数>

(人)

登録会員数	利用者	44	(依頼人数15)	人数計 104
	子育てホームヘルパー	60	(派遣人数11)	

<活動件数>

活動実績	相互援助活動の取組内容	活動件数
	① 食事関係 (調理全般)	16
	② 子どもの世話 (子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ)	61
	③ 支援センター付添	9
	④ 幼稚園の迎え付添	3
	⑤ 買い物	1
	⑥ 予防接種・健診・上の子の病院受診付添	2
	⑦ 掃除 (洗濯・風呂掃除・トイレ掃除)	12
	合 計	104

<子育てホームヘルパーフォローアップ講習会>

(人)

開催日	内容	開催場所	受講者数
3月2日	子育てホームヘルパー講習会 「怒り」「イライラ」を上手にコントロールアンガーマネジメント研修	三野町 保健センター	42

9. 居宅介護支援事業

事業費 39,732,694円

事業所の介護支援専門員8人(常勤換算5.6)が、要介護状態にある高齢者(介護予防等支援含む)に対し、適正な居宅介護支援を提供した。

① 要介護ケアプラン業務

平成30年度 延人数 1,782人(29年度 1,760人) 前年度対比 101.3%

プラン料 要介護1、2 = 10,530円

要介護3～5 = 13,680円

※利用者の自己負担無

<介護度別内訳> (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
592	596	295	167	132	1,782

<月別ケアプラン作成件数> (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	146	146	155	158	153	149	151	151	146	145	142	140	1,782
内初回加算	10	3	7	3	5	4	4	5	4	2	1	4	52

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援1、2及び事業対象者

平成30年度 延人数 373人(29年度 331人) 前年度末対比 112.7%

受託金 1,464,510円

プラン料 3,870円/件・初回加算(新規) 3,000円/件

<月別予防プラン作成件数> (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	32	32	31	30	33	31	32	34	32	31	28	27	373
内新規対象者	1	1	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	7

③ 介護保険認定調査事業 (三豊市受託事業)

介護保険法に定める要介護認定調査業務を受託し実施した。認定期間が延びたこともあり、受託件数は、昨年の1/2程度となっている。(介護支援専門員資格者が従事)

・平成30年度 調査人数 497人(29年度 1,044人) 前年度対比 47.6%

受託金 1,677,312円

調査料(市)在宅 = 3,500円/件

施設 = 2,500円/件

市外 = 2,921円/件～4,320円/件

＜月別認定調査件数＞

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市	40	39	40	40	39	39	40	39	40	39	44	50	489
市外	1	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	2	8

＜介護支援専門員研修＞

居宅介護支援事業所の質の向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週1回開催し、議題に基づき共有連携を図った他、市の実施する医療介護連携勉強会・介護サービス事業者協議会主催の介護研修にも参加する等スキルを磨いた。

開催日	参加者	研修内容
4月11日 13日	全員 3 1	ケアマネ会議(4.11.18.25日) 介護リーダー会議(事業・組織体制 他) 「三豊市主任介護支援専門員連絡会の運営、今後の活動について」
5月16日 24日	全員 3 3	ケアマネ会議(2.9.16.23.30日) 介護リーダー会議(事業・行事 他) 介護サービス総会「心をひとつに三豊市のまちづくり(市長)」
6月1日 7日 14日	全員 全員 2 3	ケアマネ会議(6.14.20.27日) 第1回研修「事例を通してケアマネジメントの検証を行う」 災害時の支援方法についてパート1(医療介護連携) 介護リーダー会議(事業研修・組織行事 他)
7月11日 12日 12日 13日 20日	全員 1 6 全員 3 2	ケアマネ会議(4.11.18.25日) 介護サービス研修「介護スタッフの為の口腔ケア」 第2回研修「介護、医療の現場から多職種連携を考える」 他事業所との事例検討会「事例検討 2事例Gワーク」 介護リーダー会議(事業・行事 他) 「主任介護支援専門員としての果たすべき役割」(西讃地域)
8月2日 8月15日	全員 2 3	ケアマネ会議(1.8.15.22.29日) 訪問看護の導入について(医療介護連携) 介護リーダー会議(組織行事・伝達 他)
9月6日 7日 11日 12日 13日 13日	全員 1 1 2 2 2 3	ケアマネ会議(5.12.19.26日) 災害時の支援方法についてパート2(医療介護連携) 福祉サービス苦情対応研修会 介護認定調査員研修 介護リーダー会議(研修案内・行事 他) 課内研修「アンチエイジングについて」 第3回研修「アセスメントシートの活用について」
10月4日 16日	全員 1 3	ケアマネ会議(3.10.17.24.31日) 在宅酸素療養中の注意事項(医療介護連携) 介護リーダー会議(研修・組織行事 他)
11月1日 1日 5日	全員 2 2 6	ケアマネ会議(7.14.21.28日) 三豊市調査員研修 介護支援専門員実務研修実習指導者研修 第4回研修「事例検討～よくある相談から介護支援専門員の役割を考える」

5 日	7	他事業所との事例検討会「事例検討 2 事例Gワーク」
12 日	1	地域ケア会議「生活援助の回数制限について」
14 日	3	介護リーダー会議(研修・組織行事 他)
14.15 日	4	日協堂体験型勉強会「自立を助ける住環境づくり」
15 日	1	多職種連携検討会「現場のヘルパー・ケアマネが知りたい病気のこと」
12 月 3 日	全員	ケアマネ会議(5.12.19.26 日)
3 日	1	地域ケア会議「ケース検討」
3 日	2	主任フォローアップ研修「実習受入の心構えと実践的な技術指導について」
13 日	3	介護リーダー会議(研修・組織行事 他)
1 月 17 日	全員	ケアマネ会議(9.16.23.30 日)
23 日	1	介護リーダー会議(組織行事 他)
23 日	1	介護サービス研修「職場のリーダーシップ」
23 日	2	市民後見制度説明研修 (包括)
2 月 12 日	全員	ケアマネ会議(6.13.20.27 日)
13 日	1	地域ケア会議「生活援助の回数制限について」
13 日	2	「事例検討を通して指導方法を考える」(西讃地域)
14 日	2	介護予防・日常生活支援総合事業説明会
14 日	3	介護リーダー会議(組織行事 他)
16 日	5	「災害 VS 運営シミュレーション訓練」(三観社協研修)
20 日	2	三観ブロック CSW 研修「災害について」
22 日	3	第 5 回研修「効果的なモニタリングについて」
3 月 7 日	全員	ケアマネ会議(6.13.20.27 日)
8 日	2	「事例を通して多職種連携による在宅支援を考える」(医療介護連携)
11 日	3	介護サービス研修「認知症ケアの事例に学ぶ」
11 日	2	第 2 回主任介護支援専門員連絡会
13 日	3	介護リーダー会議(組織行事 他)
26 日	2	平成 30 年度集団指導

＜その他＞ 専門研修課程Ⅰスキルアップ[®] (13 日間). Ⅱスキルアップ[®] (12 日間). Ⅲ (5 日間). 更新研修等 (15 日間) (介護支援専門員更新に係る研修)、主任専門員研修(12 日間)に資格者 6 名が参加し研修を受講した。

10. 訪問介護事業

事業費 46,163,865 円

(1) 訪問介護事業

事業費 34,354,088 円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。介護保険・障害福祉サービスの事業所を管理者・サービス提供責任者の 4 人が、訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

<介護度別利用人数>

※平成30年度末現在 (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
28	30	9	5	6	78

<月別利用人数> 平成30年度 919人(29年度945人) 前年度末対比 97.2% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
74	75	77	80	80	78	76	76	75	73	77	78	919

<月別利用回数> 平成30年度 11,876人(29年度12,065人) 前年度末対比 98.4% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
941	1,071	990	1,040	1,027	1,006	1,070	992	953	896	896	994	11,876

(2) 生活支援訪問事業

事業費 11,259,620円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じて適切に訪問サービスを実施した。

<対象別実人数> (人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4	18	29	51

※予防サービス利用者は、訪問サービス(Ⅰ)～(Ⅲ)を選択できる。

介護予防訪問介護(Ⅰ)…週1回程度の利用 1,168/単位(1単位:10円)

介護予防訪問介護(Ⅱ)…週2回程度の利用 2,335/単位(1単位:10円)

介護予防訪問介護(Ⅲ)…週3回程度の利用 3,704/単位(1単位:10円)

(週3回利用は支援2以上が対象)

<月別利用人数> 平成30年度 598人(29年度498人) 前年度末対比 120.1% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
52	52	51	50	46	48	48	51	48	52	49	51	598

<月別利用回数> 平成30年度 3,922人(29年度3,487人) 前年度末対比 112.5% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
359	364	339	328	332	312	339	338	300	310	292	309	3,922

(3) その他訪問事業 事業費 550,157円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業で、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関との連絡調整を行い、要介護状態の進行予防にもつなげた。

受託事業収入 361,660円

利用者負担金 39,715 円

(週 1 回 1 時間程度の訪問サービス)

○平成 30 年度時間数 169 時間 (29 年度 177 時間)

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
169 回	169 時間	49 人	95.5%

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した訪問による養育支援が必要である家に対し、訪問サービスを実施、養育に関する相談、必要な支援を行った。

○平成 30 年度時間数 48 時間 3 家族(29 年度 68 時間 3 家族)

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
33 回	48 時間	19 人	70.6%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供している。

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービスの向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。

＜訪問介護事業(障害含)における研修会及びカンファレンスの開催状況＞

開催日	参加者(人)	研修内容
4 月 12 日	13	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス
19 日	12	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
5 月 14 日	7	ヘルパーミーティング(財田・山本地区)ケース検討
6 月 15 日	13	ヘルパーミーティング(高瀬地区)ケースカンファレンス
7 月 11 日	3	事業者協議会第 36 回研修会「介護スタッフのための口腔ケア」
9 月 7 日	1	福祉サービス苦情対応事業研修会
12 日	1	事業者協議会第 37 回研修会「高齢者の薬と服薬に関する知識」
13 日	27	社協介護職員研修(第 1 回)「アンチエイジングについて」
10 月 22 日	6	ヘルパーミーティング(財田・山本地区)ケース検討
1 月 23 日	2	事業者協議会第 38 回研修会「職場のリーダーシップ」
2 月 14 日	4	介護教室「高齢者の聴こえと難聴・補聴器について」
20 日	12	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)個別カンファレンス
3 月 8 日	2	事業者協議会第 39 回研修会「認知症ケアの事例に学ぶ」
25 日	18	社協介護職員研修(第 2 回)「健康診断結果・感染症の基礎知識と対策について」
集団指導	1	訪問介護 3/22
養成研修	2	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)10/3. 11/2. 7
	4	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)2/21. 22

11. 障害福祉サービス事業

事業費 4,462,931円

障害者の日常生活を支援するために、身体障害・知的障害・精神障害等のある方に対し、自立した日常生活を営むことができるよう、ヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも行った。

(1) 障害福祉サービス事業（居宅介護） 事業費 3,968,032円

(2) 障害福祉サービス事業（行動援護） 事業費 494,899円

<区分別利用人数>

※平成30年度末現在 (人)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
11	10	2	3	1	1	28

平成30年度延べ利用者数 346人(29年度末332人) 前年度末対比 104.2%

(内訳 居宅介護 326人・行動援護 20人)

給付費収入 5,674,755円 利用者負担金 75,785円

<月別利用者数>

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29	29	28	28	30	29	30	30	30	28	27	28	346

<月別利用日数> 平成30年度 2,176日(29年度2,202日) 前年度末対比 98.8% (日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	184	186	161	174	173	162	198	191	157	153	145	180	2,202
行動	8	8	8	9	11	9	11	10	9	9	9	11	

12. 移動支援事業 (三豊市・観音寺市受託事業)

事業費 1,387,861円

1回あたりの費用 30分まで 1,500円
1時間まで 3,000円
以後30分につき 1,000円

【三豊市受託事業】

<月別利用者数> 平成30年度 70人(29年度76人) 前年度末対比 92.1% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	7	6	6	7	5	5	6	5	5	6	70

<月別利用回数> 平成30年度 472回(29年度507回) 前年度末対比 93.1% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40	48	43	39	42	35	43	39	36	38	34	35	472

【観音寺市受託事業】

＜月別利用者数＞ 平成 30 年度 6 人(29 年度 9 人) 前年度末対比 66.7% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	6

＜月別利用回数＞ 平成 30 年度 6 回(29 年度 9 回) 前年度末対比 66.7% (回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	6

【事業の種類・開催場所】

事業の種類	事業所名	開催場所
居宅介護支援 (介護予防支援・介護予防ケアマネジメント)	三豊市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所	高瀬支所
訪問介護 (介護予防・日常生活支援総合事業・生活管理・養育・支援サービス)	三豊市社会福祉協議会 訪問介護事業所	

＜障害福祉サービス事業所＞

事業の種類	事業所名	開催場所
居 宅 介 護	三豊市社会福祉協議会たかせ	高瀬支所
移 動 支 援		
重度訪問介護	三豊市社会福祉協議会たかせ	
行 動 援 護	三豊市社会福祉協議会たかせ	

※ヘルパー連絡所を、本会仁尾支所・財田支所に設置。

13. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 49,181,367円

通所介護事業（三豊市財田町デイサービスセンター）を財田町国保高齢者保健福祉支援センターにて実施している。

＜活動内容＞

時間帯	活動内容
9 時～	送迎車で職員が自宅まで迎え
9 時 45 分～15 時	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15 時 15 分	送迎車で職員が自宅まで送る

＜月別実施状況＞ 平成 30 年度利用延人数 5,037 人 (前年度利用延人数 5,671 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	20	21	21	20	23	16	22	21	19	19	19	20	241 日

月別利用者数	46	46	44	42	41	41	41	42	37	39	36	40	
利用延人数	448	526	506	433	494	357	479	440	325	344	328	357	5,037 人

<実施日数等>

実施日数	利用延人数	1 日平均利用者数	対前年度比(延人数)
241 日	5,037 人	20.9 人	89%

14. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業)

事業費 3,431,017 円

総合事業(通所型サービスA事業)として、環の湯にて週2回(水・金)実施している。

※利用者負担額 1回 一律1,200円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

<月別実施状況> 平成30年度利用者延人数 619人 (前年度利用延数 840人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96日
月別利用者数	21	20	18	18	16	16	15	16	15	15	14	14	
利用延人数	63	60	51	43	53	53	50	49	50	48	53	46	619人

実施日数	利用延人数	1 日平均利用者数	対前年度比(延人数)
96 日	619 人	6.4 人	73.7%

15. 高齢者生活福祉センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 2,941,607 円

ひとり暮らし高齢者を含む市内居住の方で高齢のため孤立して生活することに不安のある2人が財田町国保高齢者保健福祉支援センター2階で居住。なお、宿直員1人が巡回し、入居者の見守り活動等を実施。(宿直員4人交代)

16. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

当連合会の事務局を務め各所への連絡調整、各会議・委員会の開催、行事の開催等の支援を行った。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

(人)

開催日	会議名等	参加人数
5月 7日	第124回理事会	12

5 月 16 日	第 1 回女性委員会	6
5 月 12 日	第 13 回総会	199
5 月 30 日	第 1 回ペタンク大会運営委員会	7
6 月 20 日	第 125 回理事会	9
7 月 5 日	第 2 回ペタンク大会運営委員会	13
7 月 17 日	(臨時) ペタンク大会運営委員会	9
7 月 17 日	第 1 回 G・G 大会運営委員会	7
7 月 18 日	第 126 回理事会	9
8 月 9 日	第 1 回芸能発表会運営委員会	14
8 月 10 日	第 2 回 G・G 大会運営委員会	12
8 月 18 日	第 127 回理事会	9
9 月 13 日	第 2 回芸能発表会運営委員会	13
9 月 18 日	第 128 回理事会	9
10 月 15 日	第 3 回ペタンク大会運営委員会	7
10 月 15 日	第 3 回 G・G 大会運営委員会	6
10 月 18 日	第 129 回理事会	8
10 月 23 日	第 3 回芸能発表会運営委員会	13
11 月 6 日	第 1 回広報紙編集委員会	5
11 月 12 日	第 2 回女性委員会	6
11 月 16 日	第 130 回理事会	9
12 月 4 日	第 4 回芸能発表会運営委員会	11
12 月 11 日	第 2 回広報紙編集委員会	6
12 月 14 日	第 131 回理事会	9
2 月 7 日	スポーツ運営委員会・女性委員会	22
2 月 14 日	第 3 回広報紙編集委員会	7
2 月 20 日	第 132 回理事会	8
2 月 28 日	第 4 回広報紙編集委員会	6
3 月 13 日	第 133 回理事会	8

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催(参加人数延べ 1,339 人)
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数:53)(たまり場活動数:110ヶ所)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施

地域の（子ども）見守り活動と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開（クラブ数：21）（会員数：360 人）
---------------------------	--

＜市老連主催事業＞

（人）

開催日	会議名等	内容	人数
5 月 27 日	第 1 回女性委員会主催研修会	讃岐源之丞、人形浄瑠璃を観劇の後、旧町散策（三野町編）し、歴史や文化にふれ親睦交流を図る。	79
6 月 8 日	単位クラブ活動研修会	単位クラブ実践発表・神田寿会、辻若松会。講演「高齢者の家庭内事故防止対策」	111
7 月 13 日	第 2 回女性委員会主催研修会	講演「夏こそ気を付けたい高齢者の食事」・調理実習	34
8 月 28 日	第 4 回ペタンク大会	スポーツ大会の種類を増やし、健康増進や生きがいの創出及び親睦交流	171
9 月 7 日	第 6 回 G・G 大会	健康増進や会員相互の親睦交流	214
10 月 27 日	第 3 回芸能発表会	26 組 69 名がカラオケ・舞踊・詩吟・演劇 ダンス等を披露	183
1 月 25 日	第 3 回女性委員会主催研修会	講演「免疫力を上げて風邪にかるカルメン健康体操」	35
2 月 27 日	高松市老連女性代表者との交流会	高松市老連の地区女性代表者 32 名と交流（三豊市女性委員は 14 名参加）	14

＜その他研修等参加＞

（人）

開催日	研修等	内容	人数
6 月 3 日	三豊市「歯と口の健康フェスタ」への協力	口を使った遊びコーナーを担当約 400 組の親子と交流及び指導（ピロピロ笛、折り紙風船作りなど）	12
10 月 22 日 ～23 日	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	基調報告・事例発表・講演	1
8 月 1 日 ～2 日	第 60 回四国老人クラブ大会	表彰・講演・事例発表	15
9 月	老人の日・老人週間「社会奉仕の日」	各地区老人クラブで実施	
9 月 14 日	見守り支援を考える友愛の集い	高齢者の見守りと支え合い活動の推進をテーマに開催（事例発表・手話ダンス・講演）演題「地域で支え合う活動」	14
9 月 26 日	シニアスポーツ交流大会（ペタンク）	香川県総合運動公園で開催	18

10月24日	シニアスポーツ交流大会（グラウンドゴルフ）	高松市立東部運動公園で開催	42
11月15日	ぼちぼちクラブ香川 みんなの集い	表彰式典・記念講演 演題「あなたに合うニュースポーツの 見つけ方」・芸能発表	43
3月4日	地域リーダー研修会	事例発表・グループ協議	17

（２）共同募金事業

本会定款第１章、第２条(6)に基づき、地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするために、共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制を進めた。

＜一般募金＞

(円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸別募金	17,360,000	16,807,500	△552,500
街頭募金	150,000	180,308	30,308
法人募金	3,700,000	3,546,000	△154,000
学校募金	620,000	586,584	△33,416
職域募金	1,100,000	1,094,500	△5,500
イベント募金	20,000	12,719	△7,281
その他の募金	150,000	264,606	114,606
合 計	23,100,000	22,492,217	△607,783

＜街頭募金＞

(人)

地区名	実施日	実施場所	参加人数
高瀬	平成30年10月1日	マルナカ高瀬店	11
	平成30年10月2日	マルヨシセンター高瀬店 マックスバリュ高瀬店	11 12
山本	平成30年10月30日	マルナカ山本店	12
三野	平成29年10月4日	ピカソ三野店	10
豊中	平成30年10月2日	マルナカ豊中店 ゆめタウン三豊	27 5
詫間	平成30年10月1日	JR 詫間駅	11
仁尾	平成30年10月1日	株式会社 今川	7
財田	平成30年10月8日	道の駅たからだの里物産館	10

< 審査委員会 >

開催日	内容	結果
平成 30 年 5 月 24 日	・ 委員長及び副委員長の互選について ・ 平成 31 年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について ・ 平成 31 年度共同募金推進計画について	承認 承認 承認
平成 31 年 2 月 14 日	・ 平成 30 年度募金結果について ・ 平成 31 年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 承認

< 運営委員会 >

開催日	内容	結果
平成 30 年 6 月 8 日	・ 運営委員の選任について ・ 会長及び副会長の互選について ・ 監事の選任について ・ 審査委員の選任について ・ 平成 29 年度共同募金収支決算について ・ 平成 31 年度共同募金推進計画について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 31 年 3 月 18 日	・ 平成 30 年度募金結果について ・ 平成 31 年度三豊市共同募金委員会予算について	報告 承認

< 会計監査 >

開催日	主要付議事項	結果
平成 30 年 5 月 30 日	・ 平成 29 年度決算監査	認定

< 平成 29 年度共同募金(30 年度事業)地域助成事業 >

(円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
三豊市社会福祉協議会	8	地域見守り活動支援事業・サロン活動推進事業・広報啓発事業・みとよ福祉まつり開催事業・三豊市福祉大会開催事業・福祉教育推進事業・安心安全推進事業、まるみプラン推進事業	11,562,690
地区社協 自治会連合会等	30	高齢者地域交流事業・ボランティアスキルアップ事業・子育てサロン事業・防災啓発事業・福祉施設訪問事業・防災炊き出し事業・高齢者ふれあい会食事業等	2,530,000
福祉団体 ボランティア団体	71	身障スポーツ大会開催事業・子育て応援事業・ひとり暮らし等高齢者電話訪問事業・社会を明るくする運動・親子ふれあい事業・花いっぱい運動・点訳絵本作成事業・	4,495,000

		更生保護事業・友愛活動・環境美化活動・施設訪問・大楠保存活動 ボランティア事業・おはなし会等	
合 計	109		18, 587, 690

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、平成 18 年に社協が子育てボランティア養成講座を実施した際、自分たちにできる育児の手伝いと、社協が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政、各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	7	53	三豊市子育て支援課
がん検診	22	65	三豊市健康課
三豊市愛育会関連行事	2	13	三豊市子育て支援課
豊中町愛育会関連行事	6	48	豊中町愛育会
ファミサポ関連行事	8	39	みとよファミリー サポート・センター
健康料理教室	3	6	まちづくり推進隊三野
子育て講演会	1	10	三豊市子育て支援課
女性活躍推進シンポジ ウム講演会	1	3	三豊市田園都市推進課
合計	50	237	

<自主行事>

(人)

開催日	活動内容	開催場所	人数
4 月 26 日	総会（基調講演、交流会） 講演「糖尿病にならないために」 講師：米井クリニック 院長 米井 泰治 先生	豊中町農村環境改善 センター	29
7 月 3 日	研修会（料理教室） 講師：前山 由美子 先生	豊中町保健センター （調理室・セミナールーム）	18
9 月 21 日	みとよ福祉まつり準備（ホップコーン作り）	豊中町農村環境改善 センター	6

9月22日	みとよ福祉まつり（活動紹介、ポップコーン販売、折り紙コーナー）	豊中町農村環境改善センター	9
10月22日	研修会（健康体操） 講師：古市 敬子 先生	豊中町保健センター 健診準備室	14
11月28日	視察研修会（三豊市南部保育所、勇心酒造 他）	三豊市（高瀬町）、 綾川町	23
2月6日	研修会（煎茶の入れ方） 講師：片岡 裕子 先生	みとよ未来創造館 （和室）	17

<協力行事>

(人)

開催日	活動内容	開催場所	人数
7月31日	障害児長期休暇中の預かり みとよきらっと☆くらぶボランティア参加（8：30～16：30）	山本町保健センター	4
8月7日			4
3月15日	「みとよきらっと☆くらぶ」 ボランティア研修会	山本町保健センター	15

（４）フードバンク事業

フードバンク事業は、寄付いただいた食料品等を、支援を必要とする方に提供している。この事業は「おもいやりネットワーク事業」や「生活福祉資金貸付事業」と連携を取りながら、地域で自立して生活できるよう支援することを目的としている。

平成30年度は10人に対して相談及び支援を行った。

（５）職員の資質向上

コミュニティソーシャルワークについて学ぶため、香川県コミュニティソーシャルワーク実践者研修等を受講した。また、三観ブロック研修会で三豊・観音寺地区の域福祉・医療・施設関係者等の専門職等と地域共生社会の実現に向けた取り組みについて学ぶとともに、実践事例についての報告を受けながら、各関係機関とのネットワークの構築を図った。

<県全体での研修会等>

(人)

開催日	研修内容	受講者数
平成30年 6月30日	コミュニティソーシャルワーク基礎研修会 ラウンドテーブル ①子どもの育ちを考える ラウンドテーブル ②地域共生社会における多（他）職種連携を考える 講師：静岡福祉大学 福祉心理学科特任教授 青山登志夫 氏	9
	コミュニティソーシャルワーク（CSW）実践者養成研修 講義Ⅰ「地域共生社会の構築に向けた新たな支え合い活動	

平成 30 年 7 月 18 日 ～19 日	の仕組みづくりを考える」 ワークショップⅠ「CSW の観点による個別アセスメント」 ワークショップⅡ「CSW 視点による地域アセスメント①」 ワークショップⅢ「CSW 視点による地域アセスメント②」 ワークショップⅣ「CSW 実践のプランニング①」 ワークショップⅤ「CSW 実践のプランニング②」 講義Ⅱ「新たな相談支援事業と CSW のプロセスを展開する システム構築」 講師：日本地域福祉研究所 理事・主任研究員 青山登志夫 氏	2
平成 30 年 10 月 9 日	CSW 実践者スキルアップ事前研修 スキルアップ研修をより充実したものにするために、参加 者同士によるグループコンサルテーションを実施。 講師：かがわ C S W 実践研究会代表 越智和子氏	1
平成 30 年 11 月 5 日 ～6 日	CSW 実践者スキルアップ研修 CSW 事例報告 グループコンサルテーション ワークショップ 講師：日本地域福祉研究所 理事・主任研究員 青山登志夫 氏	1
地域福祉（CSW）実践者研修修了者 通算 11 人		

※年 3 回の CSW 勉強会へ職員参加。

● 三観ブロックでのコミュニティソーシャルワーク（CSW）研修会

三観ブロックの事務局は観音寺市社協と三豊市社協で隔年交代で担っており、平成 30 年度の事務局は三豊市社協が担当した。

研修会は 1 回開催され、観音寺市社協と協力しながら運営、実施した。

- ・研修会 47 人参加（三豊市社協より 8 人参加）

今回の研修会では、今後起こりうる様々な災害に対して、専門職として自分たちに何ができるのか、各種団体がどう連携すべきかを考えるため「専門職における大規模災害時の対応」をテーマとした研修会を開催し、社協の災害ボランティアセンターがどのように対応したのかを学んで情報交換を行い、有事の際の専門職の対応について考えた。

＜ブロックでの研修会＞

開催日	研修内容	開催場所
平成 31 年 2 月 20 日	・実践報告 「専門職における大規模災害時の対応」 講師：西予市社会福祉協議会（愛媛県） 井上 敦人 氏 ・グループワーク	三豊市山本町 保健センター